

藝園草牧

第十一卷・第十号

昭和二十八年五月十五日第三種郵便物認可
昭和二十八年十月一日(毎月一回一日発行)



夕張部長沼町字幌内一〇六六
雪印種苗株式会社

中央研究農場

雪印種苗株式会社

雪印が
お奨めする

南 瓜

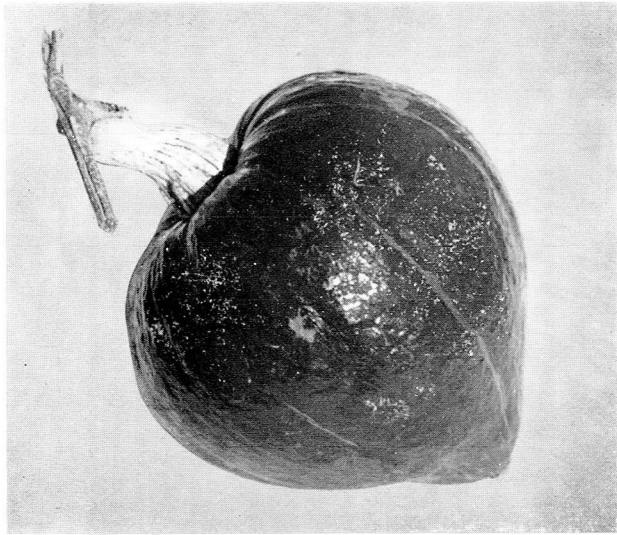
(美園デリシヤス)

育成選抜品種の解説

(一) 育成選抜の目的と経過

食味のよい豊産種を育成する目的で、昭和二十二年以降、デリシヤスの系統分離を行ない、昭和二十六年育成を完了し、二十九年に登録が決定したものである。

(二) 特性概要



食味のよい雪印改良の美園デリシヤス

草勢は在来のデリシヤスよりいくぶんこぶりで、葉もやや小さく節間も短い、果実の形状は肩張りのよいハート形できわめてよく揃い、大きさもデリシヤスよりやや小型で一個、二・六〜三・五キログラム内外である。外皮は暗緑色で柔らかく、肉質は澱粉質に富み、いわゆるポクポクして、黄橙、甘みも強く味は良好である。本種は在来種に比べてきわめて豊産で、一株から五〜六果も収穫することができる。着果習性は主枝上、一〇〜一四節めから連続もしくは二、三節おきに着果

し、五〜六番果までの着果節位も二五〜二六節、根元から四節内外である。したがって各果ともほとんど同形で、良く充実し、食味も変わりなく、ウラナリにはならない。子ヅルの伸長はやや劣るが、根元に近い子ヅル一〜二本はよく伸び、子ヅルの着花も主枝同様で一〜二果ぐらい収穫できる。成熟日数は開花後五五日内外である。

(三) 栽培上の注意

本種の栽培に当たっては、主枝上によく着果するから、とくに摘心の必要なく、普通栽培よりうね間をひろげて株間をせばめ、四桁×〇・九〜一・二桁の一くらゐ一本仕立とする。なお主枝を風下に揃えるようにすると管理に便である。本種の肥培法については多肥してもつるのみ伸びて着果の悪くなるのが少なく、早期に連続的に開花結実するので元肥を充分施すことが要点である。本種は外皮がやわらかいため傷をうけやすく、貯蔵力が幾分おとるから、貯蔵するためには、完熟させて打ちきずを与えないよう注意して収穫し、日陰でしばらく後熟すれば十二月一ぱいは良く貯蔵できる。

第一表 南瓜品種による着花節位

品 種 名	開 花 始		着 花 節 位				
	雄	雌	一番花	二番花	三番花	四番花	五番花
美園デリシヤス	七月廿七日	二二	一〇・八節	一四・〇節	一六・四節	一九・四節	二二・二節
芳 香	二〇	二六	一三・六節	二〇・四節			

注 芳香は主枝上四節以内平均二花着花、美園デリシヤスは六〜七花着花する。

第二表 南瓜品種比較

(昭和三十七年上野幌育種場)

品 種 名	第一着果位	果 硬 太 さ	一 株 当 収 獲 個 数	一 個 平 均 重	平 均 糖 度
	蔓 長				
美園デリシヤス	一〇六・五	三・七六	三・〇〇	二・五一三	一三・〇
芳 香	一六五・〇	三・四七	一・五〇	二・〇六三	一五・四
赤 皮	一三三・五	三・一三	二・〇〇	一・三〇六	一三・〇
黒 皮	一八九・七	四・五二	二・三〇	三・二一九	一二・〇